

# フクシマと核廃絶

～元外交官が語る日本の歴史的貢献～

安倍晋三内閣総理大臣、菅義儀内閣官房長官、日本オリンピック委員会竹田恒和会長、泉田裕彦新潟県知事、岸田文雄外務大臣、キャロライン・ケネディ駐日本国大使・・・数多くの高官に書簡を送り続けている村田光平氏。何としても今は東京オリンピックではなくフクシマに集中すべきと進言し、原発再稼働を止めるべく奔走した—

村田光平氏は、チェルノブイリ原発事故以来、脱原発をめざす活動を開始。駐スイス大使時代の1999年、当時の閣僚から「日本の大使が原発反対の文書を持ち歩いている」と批判され、その後日本に帰国、辞職。さまざまな圧力に屈せず、脱原発の主張を貫き「反骨の外交官」と呼ばれる。

今回の市民公開講演会では、元外交官という立場でどのように奔走し、国を動かす試みを行ってきたのか。その歴史的貢献に値する活動を、実際の書簡のやり取りなども紹介いただきながら、知る機会としたい。

♪同時企画♪ 鎌仲ひとみ監督作品 **「カノンだより」** 上映会

チェルノブイリ原発事故、3・11福島原発事故に向き合う母親たちの小さな声を集めたドキュメント

元駐スイス大使 信念訴え十数年

脱原発世界中に書簡



6月15日(日)

会場：M&D ホール（浪速区幸町 1-2-33）

\* なんば駅から 26-A 出口を上り徒歩 5 分

13 時開場

・14 時～15 時 映画上映「カノンだより」

・15 時～17 時 講演会

「フクシマと核廃絶」(村田光平氏)

\* 参加費無料・どなたでもご参加いただけます。

問い合わせ：06-6568-7721(協会・事務局まで)

FAX06-6568-2389 までお申込みください

6/15 講演会に参加します。

お名前

電話番号